

かごしましりつびじゅつかん 鹿児島市立美術館 「^{みゅしやてん}ミュシャ展^{うんめい}～運命の女たち～^{おんな}」 ^{かんしょうれぽーと}鑑賞レポート

伊敷台小学校 3年

^{びじゅつかん}美術館^いに行った日^ひ 平成30年 8月 19日(日)

^き気に入った^い作品^{さくひん}の名前^{なまえ} (「^{しゅん}四季^{しゅう}春夏秋冬^{ふゆ}」)

^{さくひん}作品^{ひと}をかいた人^{なまえ}の名前 (アルフォンス・ミュシャ)

かんそう
感想

ミュシャのえがいた作品の中で、一番気に入った作品は、「四季春夏秋冬」です。この作品は、季節を、4人の女の人で表現しています。この4人の女の人たちは、みんなやさしい表情をしていて、髪の毛がとてもきれいで、すごいです。私が一番に気に入っている女の方は、春を表現している女の方です。なぜかという、この女の方は、足もとにある花を見ていて、とてもやさしい顔をしているからです。私は花が大好きです。そして、花を見たときに、かわいいなとやさしい気持ちになりました。おもしろく感じます。きっとこの女の方も、私と同じような気持ちになったのかなと思いました。

女の方の後ろには、花や木や物のつるがえがかれていて、きれいな女の方の表情と合っているなと思いました。